

岩上ゼミ 活動紹介

岩上ゼミは、昨年 10 月からスタートした新しいゼミです。現在、経済専攻 6 名、経営情報専攻 2 名、計 8 名が所属しています。

「証券投資の学びを通して、経済を見る力・感じる力を磨こう!」との基本テーマのもと、どのような活動をしているか紹介しましょう。



演習 I

演習 I では、まず投資の基本である企業分析について学びます。企業の決算書分析が基礎となるため、まず、会社のさまざまな活動がどのように決算書に反映されるのかを事例形式で確認していきます。次に、決算書の数字から企業の収益性や安全性、効率性などを比較分析する方法を学びます。2021 年度は、キッコーマン、キューピー、日本マクドナルド、スカイラークなど、実際の会社の決算書を比較・分析しました。

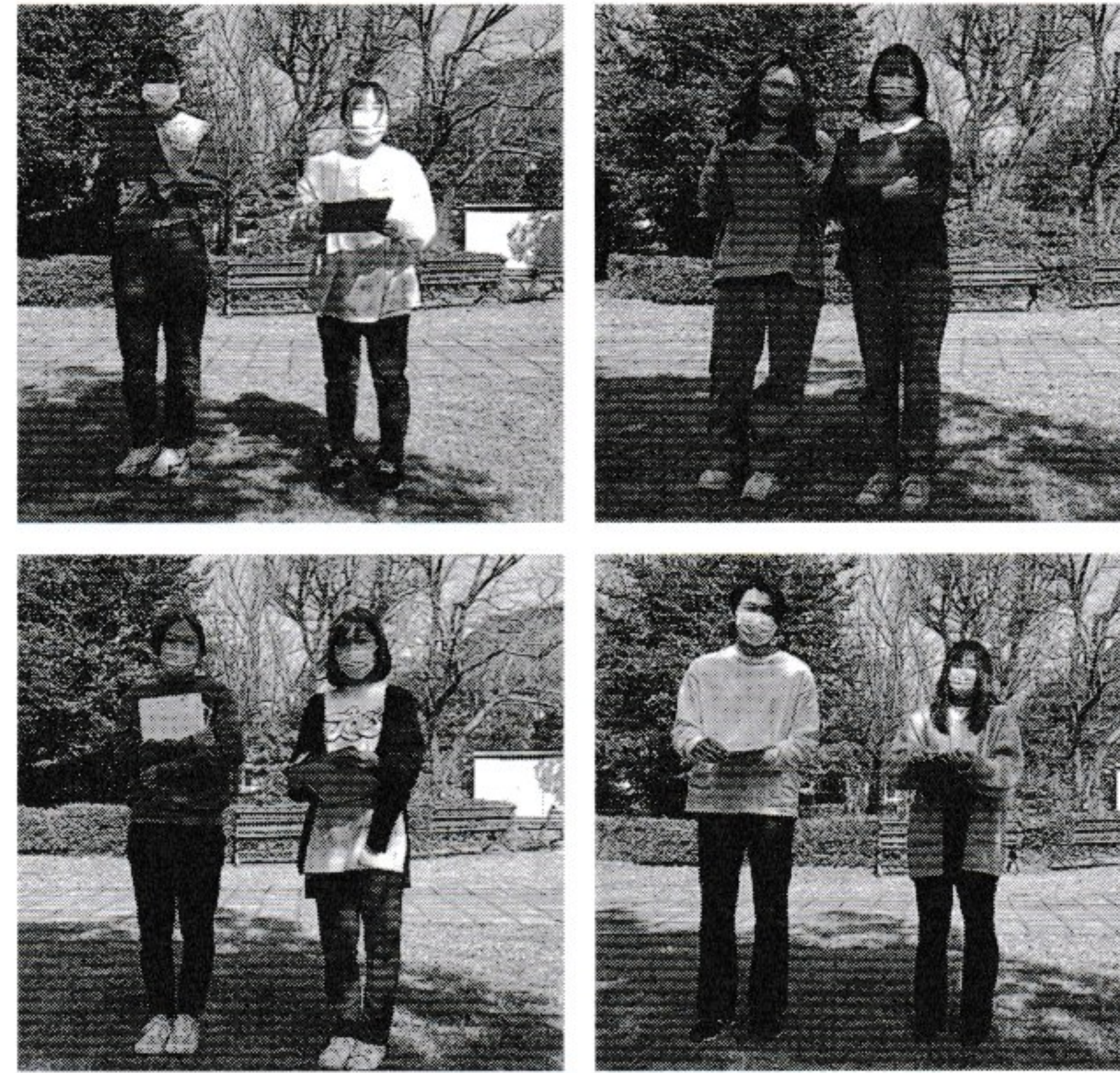
また、経済の動きを理解するための基礎力を身に着けることも演習 I の目的です。カードゲームも取り入れながら、金利、物価、外国為替の動きが景気とどのように関連しているのかを学びました。

次に、ゼミの特徴を 3 つ紹介します。

① グループワーク

ゼミでは、グループワークを多く行っています。2 人や 4 人のグループで、お互いの紹介（他己紹介）を行ったり、レポートを作成して発表を行ったり。グループは固定せず組

み変えるので、ゼミ生同士が仲良くなるのに役立っています。



(注) M-1 に向けたネタ合わせではありません。

② 教員担当科目とリンク

教員が後期担当する「経済学特講 I」は、証券取引の実務を学ぶ科目です。出席可能なゼミ生は、そこで株式や債券、投資信託について学びます。出席できないゼミ生には教員が個別に補講を行っています。2022 年度からは「ファイナンス論」が始まるので、ゼミ活動とのリンクがより強くなります。

③ リアル株式投資

投資を学ぶには「習うより慣れろ」といわれます。ゼミでは、実際に株式を購入しています。現在(2022年1月中旬)、企業分析の結果、ゼミ生全員の意見が一致したキッコーマン(2801)を 100 株保有中。利益が出来れば、ゼミ活動費として有意義に活用する予定です。

おわりに

2021 年度は、課外活動は残念ながら自粛となりました。今後、状況が改善すれば、証券取引所や企業の訪問、ゼミ旅行、ボランティア活動やランニング大会参加（教員趣味の押し付けにならない程度で）なども、積極的に実施していきたいと考えています。